

講義名称	法学概論	担当教員名	堀田 学
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	法律	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	SOC131

授業のキーワード	法、権利、義務
授業の概要	社会で生活していく上で、法律に関わらず生活を続けることは難しく、何らかの関わりを持たざるを得ません。この講義では、法学についての基礎知識の修得を目指します。
期待される学習成果 (目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法を身近なものとして捉えることができる。</li> <li>2. 法についてその背景を理解することができる。</li> <li>3. 司法の仕組みを理解する。</li> </ol>

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	法とは何か	授業のオリエンテーションと法学についての説明をします。
2	法と習慣・道徳	習慣と道徳は法と関わりがあります。その関係について説明します。
3	契約	契約について説明します。
4	過失・不法行為	過失や不法行為について説明します。
5	親族関係	結婚、離婚、親子関係について説明します。
6	生活と仕事に関する法	労働法や消費者法について学びます。
7	民法と刑法	民法と刑法の違いについて学びます。
8	自動車と法	交通事故などに関係する法律を学びます。
9	選挙権	選挙権について学びます。
10	情報社会と法	個人情報やプライバシーなど現代の法について学びます。
11	国際法	国際法について学びます。
12	人権	生存権など人権について学びます。
13	市民と司法	裁判の傍聴や裁判員制度について説明します。
14	リーガルマインド①	リーガルマインドについて考えていきます。
15	リーガルマインド②	リーガルマインドについて考えていきます。

定期試験	重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します (記述も含む)。
授業時間外学習	講義を受講した後は、教科書やノートを見て復習をするとともに、次回の内容を教科書に目を通して予習してください。
評価方法	定期試験 (100%) で評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	池田真朗編『プレステップ法学 [第3版]』弘文堂、2013年
参考文献	向井久了『法学入門』法学書院、2009年 伊藤正己・加藤一郎『現代法学入門 [第4版]』有斐閣、2005年 『ポケット六法 (平成30年度版)』有斐閣、2017年